

2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
 コード番号 1446 URL <https://www.candeal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701 (代)
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 2020年6月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	6,617	△3.1	324	△8.4	290	△17.7	148	△24.8
2019年9月期第2四半期	6,827	7.8	353	26.9	353	42.3	197	26.3

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 147百万円(△25.1%) 2019年9月期第2四半期 197百万円(26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	14.33	13.92
2019年9月期第2四半期	19.46	18.79

(注) 当社は2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	6,872	3,279	47.6
2019年9月期	6,854	3,154	45.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 3,269百万円 2019年9月期 3,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	5.00	—	3.00	8.00
2020年9月期	—	3.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2019年9月期第2四半期末配当金は実際の配当金を記載しております。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループが関わる工事現場の遅延・中止が多数発生しており、現時点で業績予想を合理的に算定することが困難な状況であることから、2020年9月期の業績予想は未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年9月期2Q	10,353,800株	2019年9月期	10,327,800株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年9月期2Q	一株	2019年9月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年9月期2Q	10,347,166株	2019年9月期2Q	10,125,002株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等が継続したものの、2019年10月に実施された消費税の増税、米中通商問題等による海外経済の不確実性の高まりに加え、世界的に広がる新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内外の経済の下振れリスクや金融資本市場の変動の影響等により、先行きが懸念される不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による新設住宅着工戸数は2019年4月～2020年3月累計で前年同期比92.7%と減少し、分譲戸建については前年同期比で100.9%と微増し、分譲マンションも前年同期比で93.3%と減少しており住宅市場は弱含みで推移しました。商業施設などの建設業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるホテル、店舗など商業施設の内装需要に減少の兆しが出ております。

このような状況のもとで、当社グループは、「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という当社グループ理念に基づき、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上に向け活動を強化しております。また、当社グループビジョン「全ての建物にキャンディル」の実現に向けて、2016年に閣議決定された「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充と「お客様のニーズにあった新商品開発に取り組み、住宅関連サービス及び商業施設関連サービスの拡充等、売上拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,617,666千円（前年同期比96.9%）、営業利益は324,227千円（前年同期比91.6%）、経常利益は290,767千円（前年同期比82.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は148,288千円（前年同期比75.2%）となりました。なお、当社では組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に96,111千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は386,879千円（前年同期比86.1%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は244,399千円（前年同期比83.4%）となります。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりです。

① リペアサービス

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心としたリペアサービスを提供しておりますが、同社のリペアサービスは大口顧客の受注が堅調に推移した結果、売上高は1,985,177千円（前年同期比102.8%）となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心としたリペアサービスを提供しておりますが、分譲マンションの竣工数が前年同期比で減少した結果、同社のリペアサービスの売上高は631,221千円（前年同期比96.0%）となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は2,616,399千円（前年同期比101.1%）となりました。

② 住環境向け建築サービス

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心とした定期点検やリコール対応を提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は1,157,888千円（前年同期比98.7%）となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心とした検査サービスや内覧会運営サービスを提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は466,586千円（前年同期比97.1%）となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は1,624,474千円（前年同期比94.0%）となりました。

③ 商環境向け建築サービス

株式会社キャンディルテクトは主に商業施設の内装施工サービス、組立サービス、揚重サービスを提供しており、特にホテルや商業施設の内装施工サービス及び組立サービスの受注が減少したことから、当第2四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は1,955,823千円（前年同期比91.8%）となりました。

④ 商材販売

株式会社キャンディルデザインは、補修材料を中心とした販売サービスの提供と北海道を中心に高級カーテンなどのインテリア商材の販売サービスの提供を行っております。補修材料の販売、インテリア商材の受注がともに堅調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間における商材販売の連結売上高は420,969千円（前年同期比110.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は6,872,069千円となり、前連結会計年度末に比べ17,596千円の増加となりました。

流動資産は3,681,651千円となり、前連結会計年度末に比べ52,858千円の増加となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が225,793千円増加したこと、未成工事支出金が61,142千円増加したこと、現金及び預金が243,663千円減少したことなどによります。

固定資産は3,190,417千円となり、前連結会計年度末に比べ35,262千円の減少となりました。これは、主にのれんが96,111千円減少したこと、投資有価証券が40,334千円増加したこと、繰延税金資産が2,350千円増加したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,592,921千円となり、前連結会計年度末に比べ107,483千円の減少となりました。

流動負債は2,363,921千円となり、前連結会計年度末に比べ63,579千円の増加となりました。これは、主に買掛金が110,983千円増加したこと、賞与引当金が12,754千円増加したこと、未払法人税等が86,294千円減少したこと、未払費用が24,999千円減少したことなどによります。

固定負債は1,229,000千円となり、前連結会計年度末に比べ171,063千円の減少となりました。これは、主に長期借入金171,000千円減少したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,279,148千円となり、前連結会計年度末に比べ125,079千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が117,304千円増加したこと、資本金が4,311千円増加したこと、資本剰余金が4,311千円増加したことなどによります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は47.6%（前連結会計年度末比1.7ポイント上昇）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は1,346,557千円と、前連結会計年度末に比べ243,663千円の減少となりました。

各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、38,290千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益290,767千円を計上したこと、売上債権が225,793千円増加したこと、法人税等の支払額199,411千円、仕入債務が110,983千円増加したこと、のれん償却額96,111千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、87,907千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出42,027千円、有形固定資産の取得による支出22,110千円、無形固定資産の取得による支出19,105千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、194,050千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出171,000千円、配当金の支払による支出30,983千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループが関わる工事現場の遅延・中止が多数発生しており、現時点で業績予想を合理的に算定することが困難な状況であることから、2020年9月期の業績予想は未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,590,221	1,346,557
受取手形及び売掛金	1,793,032	2,018,825
商品及び製品	97,290	96,411
未成工事支出金	20,589	81,731
原材料及び貯蔵品	42,338	45,121
その他	89,188	98,394
貸倒引当金	△3,867	△5,390
流動資産合計	3,628,793	3,681,651
固定資産		
有形固定資産	67,910	76,150
無形固定資産		
のれん	2,883,355	2,787,243
その他	83,947	92,545
無形固定資産合計	2,967,303	2,879,788
投資その他の資産		
繰延税金資産	101,080	103,431
その他	93,117	136,374
貸倒引当金	△3,732	△5,328
投資その他の資産合計	190,466	234,477
固定資産合計	3,225,680	3,190,417
資産合計	6,854,473	6,872,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	314,562	425,546
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	211,153	124,859
賞与引当金	163,584	176,338
未払費用	607,554	582,555
その他	403,487	454,622
流動負債合計	2,300,341	2,363,921
固定負債		
長期借入金	1,400,000	1,229,000
その他	63	—
固定負債合計	1,400,063	1,229,000
負債合計	3,700,404	3,592,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	497,042	501,353
資本剰余金	2,217,142	2,221,453
利益剰余金	429,220	546,525
株主資本合計	3,143,405	3,269,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576	50
その他の包括利益累計額合計	576	50
新株予約権	10,087	9,764
純資産合計	3,154,069	3,279,148
負債純資産合計	6,854,473	6,872,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	6,827,481	6,617,666
売上原価	4,380,902	4,189,393
売上総利益	2,446,579	2,428,272
販売費及び一般管理費	2,092,649	2,104,045
営業利益	353,929	324,227
営業外収益		
受取利息	39	40
受取配当金	53	59
受取保険金	2,549	3,026
助成金収入	5,557	1,872
その他	2,396	772
営業外収益合計	10,596	5,770
営業外費用		
支払利息	9,111	7,718
市場変更費用	—	27,655
その他	2,221	3,856
営業外費用合計	11,332	39,230
経常利益	353,193	290,767
税金等調整前四半期純利益	353,193	290,767
法人税、住民税及び事業税	188,697	144,551
法人税等調整額	△32,576	△2,072
法人税等合計	156,121	142,479
四半期純利益	197,071	148,288
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,071	148,288

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	197,071	148,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	△525
その他の包括利益合計	95	△525
四半期包括利益	197,167	147,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,167	147,762
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	353,193	290,767
減価償却費	14,912	21,089
のれん償却額	96,111	96,111
貸倒引当金の増減額(△は減少)	415	3,119
賞与引当金の増減額(△は減少)	67,749	12,754
受取利息及び受取配当金	△92	△100
支払利息	9,111	7,718
売上債権の増減額(△は増加)	△308,793	△225,793
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,783	△63,046
仕入債務の増減額(△は減少)	99,579	110,983
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,978	25,472
その他	110,840	△33,833
小計	434,222	245,243
利息及び配当金の受取額	92	100
利息の支払額	△9,131	△7,642
法人税等の還付額	27,744	0
法人税等の支払額	△32,442	△199,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	420,485	38,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,646	△22,110
無形固定資産の取得による支出	△11,701	△19,105
投資有価証券の取得による支出	△104	△42,027
その他	△2,792	△4,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,244	△87,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△171,000
配当金の支払額	—	△30,983
リース債務の返済による支出	△1,387	△366
新株予約権の行使による株式の発行による収入	65,912	8,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,475	△194,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	367,757	△243,663
現金及び現金同等物の期首残高	1,267,212	1,590,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,634,969	1,346,557

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。